



こんにちは
横浜市議員

宇佐美 さやか です

大型公共事業ではなく、市民の暮らし支える施策に予算を充てよ

横浜市会では23日(金)、新年度予算に対する各会派の代表質問が行われ、日本共産党からは、あらき由美子団長(南区選出)が登壇し、前年度比3割増の大型公共事業を含む施設整備費を計上した新年度予算編成の考え方について林市長を迫りました。

東京五輪に間に合わせるため大型開発に巨費を投入…自民党の要請に応えたもの

横浜市の新年度予算の一般会計は、施設整備費を対前年度比で3割増額し、新市庁舎整備325億円、高速横浜環状道路346億円、国際コンテナ戦略港湾など港湾整備に103億円、山下ふ頭再開発62億円など大型公共事業に巨費を振り向けています。

党市議団は、大型公共事業に財政投入し、経済を活性化させるという手法は、安倍自公政権が行っている手法そのままであり、市財政を圧迫している東京オリンピック・パラリンピックまでに新市庁舎や横浜環状道路北西線を完成させる方針は、自民党市議団からの要望に沿ったものだと指摘しました。

防災対策や公的住宅増設など、市民の暮らしに関わるものにこそ予算を

今必要なことは、地方自治の「住民の福祉の増進を図る」とした本旨にもとづき、市民要望の高い災害対策のための崖防災や身近な公共施設の長寿命化、市営住宅や養護老人ホームなどの住まい施策、スクールゾーンや歩道の整備などの身近な公共事業など、市民の身近な暮らしに関わる施設整

前年度比3割増となった施設整備費(約2500億円)
特に目立つ大型公共事業

新市庁舎整備……………	325億円
高速横浜環状道路…	346億円
国際コンテナ戦略	103億円
港湾など港湾整備	103億円
山下ふ頭再開発……	62億円



あらき由美子団長の予算代表質問＝23日

備費こそ予算を増やすべきと主張しました。
今回、新市庁舎や横浜高速環状道路などの予算を捻出するため、1176件の事業を見直しし、116億円を捻出しています。見直した事業は、国民健康保険事業費会計への繰入金18億円、放課後児童クラブ事業の1億9千万円、職員の退職手当引き下げ9億円などです。

党市議団は、この数字からみて、市民の暮らしを守るべき事業にしわ寄せをしていると思わないのかと林市長に方針転換を迫りました。

林市長は、予算配分については、決して満足していないとしながらも「税収が厳しい」と述べ、増額した施設整備費のしわ寄せが健康福祉局などに行っているわけではない、「大型公共事業はやっぱり大事」などと答弁しました。